

地域産業を支える人材の育成について

【担当省庁】経済産業省、中小企業庁、文部科学省

地域経済の持続的な成長・発展を図るためには、中小企業をはじめとする地域産業を支える優れた人材を育成することが不可欠であることから、以下の措置を講じていただきたい。

（独）中小企業基盤整備機構関西校のランチ設置

京都経済の中核拠点であり、中小企業の人材育成拠点として整備予定の「京都経済センター（仮称）」に（独）中小企業基盤整備機構関西校のランチを設置していただき、連携して中小企業の人材育成に取り組んでいただきたい。

「戦略産業支援のための基盤整備事業」の要件緩和

地域経済の成長・発展のためには、地域において産業を支える人材の確保が大きな課題となっていることから、高い技術力や経営ノウハウ等を有する人づくりを通じて新たな産業を創造するとともに、若者等の定着を図ることが重要である。

京都府では、若者の流出の進む府北部地域において、産学公連携による、研究開発や販路開拓を担う人づくり・しごとづくりの拠点となる「北部リサ - チパーク（仮称）」の整備に取り組んでいるところである。

ついては、こうした拠点に、多様な企業の集積が図れるよう、「戦略産業支援のための基盤整備事業」における利用者の半数以上を個人又は中小企業者とする条件等を緩和していただきたい。

コンテンツ産業の人材育成等

映像（映画、アニメ）、ゲーム、マンガ等のコンテンツ産業は、「クールジャパン」として海外からも高く評価され、海外展開を通じた成長を見込める有望な成長産業であるため、国を挙げて、コンテンツ産業の人材育成等を強力に推進していくことが重要である。

については、産学公連携により、海外展開に向けた人材育成、制作支援、販路開拓等に一体的に取り組んでいる「京都クロスメディア・クリエイティブセンター」を国の「クールジャパン戦略」のモデルとして位置づけ、国内外に情報発信していただきたい。

【現状・課題等】

「京都経済センター（仮称）」の概要及び今後の予定

設置団体：京都府・京都市・京都商工会議所・京都工業会・京都産業会館・京都信用保証協会

内 容：6 団体共同で、府内の中小企業の振興機能や地域の活性化につながるにぎわい創出など百年の計にふさわしい京都経済センターを整備

< 中小企業人材育成機能のイメージ >

- ・ 京都商工会議所と京都工業会の人材育成のノウハウを融合、中小企業大学のブランチ創設等による地域の中小企業を支える人材の育成機能
- ・ 中小企業人材や職人、クリエイター等が広く参画する共創 (Co-creative) の場
- ・ 門外漢や異業種のアイデアやデザインを製品化するワークショップ
- ・ 伝統産業と先端産業のコラボや地元住民発案による課題解決サークル
- ・ 老舗の経営理念、「京都式経営」の研究・発信や実践的な中小企業人材開発・育成・確保 等

< 整備スケジュール >

平成 27 年 5 月 整備計画策定
平成 27 年 10 月 基本協定締結
平成 27 年 12 月 設計、解体・建設工事
平成 30 年度 竣工

地域新成長産業創出促進事業費補助金（戦略産業支援のための基盤整備事業）

・ 対象事業

自治体が作成し、国の同意を得た「基本計画」の集積区域内における産業集積を行う際の国際競争力の強化と地域経済の活性化に資すると認められる施設又は機器を整備する事業

・ 補助対象施設等

貸工場、貸事業場、試作機器、検査機器

原則として次の各号に定めるものが条件

- (1) 複数の個人又は複数の事業者の用に供されること

(2) 半数以上が個人又は企業立地促進法第3条第6項に規定する中小企業者(以下「中小企業者」という。)の用に供されること

(3) 施設を整備する場合は、入居企業の販路開拓等を支援する者を置くこと

・補助率

補助対象経費の 1/2 以内

北部リサーチパーク（仮称）構想

場 所：京都府の北部地域

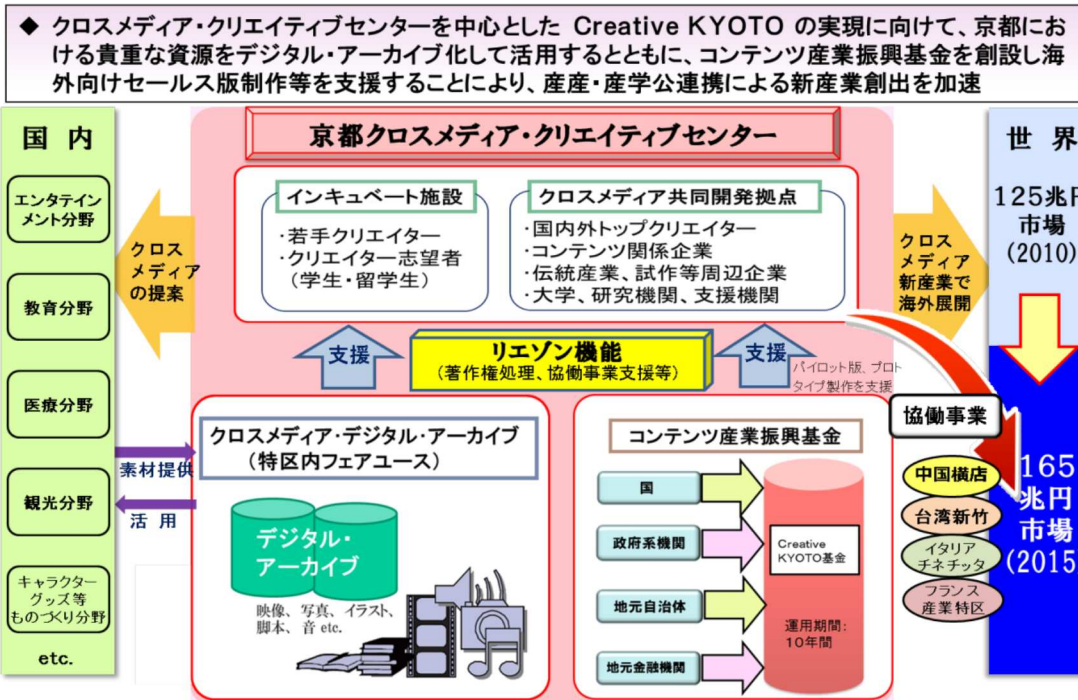
内 容： D（技術・製品開発）のリーディングエリアづくり

- ・公設試、民間研究機関等の集積・連携による技術・製品開発の促進
- ・想定テーマ：ヘルスケア分野、地域資源活用型産業分野など
- 大交流時代の拠点となるエリアづくり
- 新しいライフスタイルを提案できる職住一体型エリアづくり

京都クロスメディア・クリエイティブセンター

場 所：京都市中京区

内 容： コンテンツ分野の専門コーディネーターを配置し、起業支援、新事業創出、販路開拓を支援
インキュベーション施設を併設



【京都府の担当課】

商工労働観光部 商業・経営支援課 075-414-4816

ものづくり振興課 075-414-5103